

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報



単衣から袷への狭間の時期

昔から10月に入ったら即、袷でないといけないと考えられているのですが、もちろん「さあ今日から袷を着られるわ」と思われてはとする方もいらっしゃるに違いありません。それはそれで正しいことです。特にお茶の世界などでは必ずや袷を着用との考えが強いようです。

しかしながら10月の上旬から中旬にかけては、晴天率も高く秋空の日が続きます。

この時期には夏のような陽差しで戸外では半袖でも充分、汗ばむ季節であるのは誰しもが経験したことではないでしょうか。

これからの和とくポイント

10月の着物の装い方について

10月に着る着物や帯について、10月は秋の前半です。柄や素材について秋が深まる11月とは少し違うでしょう。

袷が良いとはいえ、いきなり重厚な雰囲気素材や柄ではなく少し軽やかに装って下さい。

紅葉がたけなわとなり木枯らしが吹き始める晩秋よりは秋の風情を爽やかに感じさせる軽快な着方が望ましいでしょう。秋になり咲く花々や実りを思わせる柄、秋空のイメージなど季節感を表した柄や色も楽しみましょう。

紅葉や晩秋を感じさせる雰囲気は10月20日を過ぎ、最後の週にかかる頃に着始めればぴったりと季節に添うこととなります。

10月も末になれば肌寒い日も訪れるでしょう。

もうそこからはなんと言っても一気に袷が大活躍です。

気温の高低差がある10月はお洒落のしがいと着物好きの着こなしのテクニックが試される月と思って、出かける目的や天候に合わせてさまざまなバリエーションで楽しんでみましょう。



やしまからのお知らせ

お友達紹介キャンペーン

秋の着付教室が開講します。皆様からのご紹介で受講申込を頂けると**帯揚げor帯締めを贈呈します!** お知り合いに、自分でキモノが着たい初心者の方がいらっしゃいましたらご紹介下さいませ様、宜しくお願い致します。

◆ 受講生募集

9/22(月) ~ 2時間の教室…
(月) 10:00~ ・ 14:00~ ・ 18:30~
(火) 18:30~
(木) 10:00~ ・ 14:00~ ・ 18:30~
(土) 18:30~
(日) 14:00~ ・ 18:30~

催事のお知らせ



- * 一人一点「10万円」で下取り
- * きものクリニック無料診断
- * きもの丸洗い3枚で9,900円
- * 着物・帯「復活」
お仕立代16,000円



新しい自分を発見。四季を彩るきものある暮らし。
きもの大好き

